



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年4月28日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の業績 (平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	13,298	—	745	—	794	—	532	—
26年12月期第1四半期	12,355	△11.4	685	△48.1	720	△47.4	435	△46.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年12月期第1四半期	18	83	—	—
26年12月期第1四半期	15	40	—	—

※当社は、平成26年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。これに伴い、平成27年12月期第1四半期(平成27年1月1日から平成27年3月31日まで)と比較対象となる平成26年12月期第1四半期(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)の期間が異なるため、平成27年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	94,119	—	80,271	—	85.3	—
26年12月期	92,550	—	80,225	—	86.7	—

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 80,271百万円 26年12月期 80,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
26年12月期	—	20 00	—	20 00	40 00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	24 00	—	24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	63,000	—	5,500	—	5,600	—	3,500	—	123	68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2015年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年12月期1Q	28,800,000株	26年12月期	28,800,000株
27年12月期1Q	500,148株	26年12月期	500,068株
27年12月期1Q	28,299,896株	26年12月期1Q	28,300,185株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令または規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第1四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりであります。

なお、前事業年度(平成26年12月期)は決算期変更により、平成26年4月1日から平成26年12月31日までの9ヶ月間となっておりますので、参考として、前年同一期間である平成26年3月期事業年度(12ヶ月間)から平成26年3月期第3四半期累計期間(9ヶ月間)を差し引いた平成26年1月1日から平成26年3月31日までの3ヶ月間との比較を記載しております。

	(参考) 平成26年1月～ 3月累計実績	平成27年12月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	14,585	13,298	△1,286	△8.8%
営業利益(百万円)	1,001	745	△256	△25.6%
経常利益(百万円)	1,025	794	△231	△22.5%
四半期純利益(百万円)	974	532	△441	△45.3%

売上高は、13,298百万円と前年同一期間に比べ1,286百万円(8.8%)減少しました。これは、前年同一期間に消費税増税前の一時的な需要増があったこと等によるものです。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、平成26年5月から販売しております「リオナ錠(高リン血症治療剤)」が936百万円となりましたが、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は3,258百万円と前年同一期間に比べ1,148百万円(26.1%)減少したほか、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は2,925百万円と前年同一期間に比べ562百万円(16.1%)減少しました。

費用面におきましては、売上原価は売上高が減少したこと等により6,398百万円と前年同一期間に比べ410百万円(6.0%)減少し、販売費及び一般管理費は研究開発費が減少したこと等により6,154百万円と前年同一期間に比べ620百万円(9.2%)減少しました。

以上の結果、営業利益は745百万円と前年同一期間に比べ256百万円(25.6%)減少し、経常利益は794百万円と前年同一期間に比べ231百万円(22.5%)減少しました。四半期純利益につきましては、532百万円と前年同一期間に比べ441百万円(45.3%)減少しました。

なお、当社は、本年3月に、日本たばこ産業株式会社(以下「JT」)との間で、ギリアド・サイエンシズ社が創製し、JTが日本国内での独占的開発・商業化権を保有する核酸逆転写酵素阻害剤tenofovir alafenamide(TAF)を含む新規抗HIV薬2品について、JTが製造販売承認を取得した後、当社が日本国内において独占的に販売する契約を締結しました。(詳細は2015年3月2日公表のプレスリリースをご覧ください。)

また、本年3月、東レ株式会社(以下「東レ」)が製造販売承認を取得し、当社が日本国内において販売中の「レミッチカプセル」(以下「本剤」)について、東レが国内における慢性肝疾患患者におけるそう痒症(以下「新適応症」)を適応症とした効能追加申請を行ったことを受け、当社、JTおよび大日本住友製薬株式会社(以下「大日本住友製薬」)は、本剤の新適応症を対象としたプロモーションを大日本住友製薬が行うことに合意し、当社は大日本住友製薬との間で、本剤の新適応症を対象としたプロモーション契約を締結しました。(詳細は2015年3月3日公表のプレスリリースをご覧ください。)

当社は、「治療用ダニアレルゲンエキス皮下注「トリエ」(減感作療法(アレルゲン免疫療法)薬)」および「スクラッチダニアレルゲンエキス「トリエ」(アレルゲン検査薬)」について、本年4月に販売を開始しました。平成26年10月に販売を開始した「シダトレン スギ花粉舌下液(減感作療法(アレルゲン免疫療法)薬)」とあわせて、減感作療法(アレルゲン免疫療法)の普及に取り組んでまいります。

(2) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、94,119百万円と前事業年度末に比べ1,568百万円(1.7%)増加しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が2,145百万円、現金及び預金が1,816百万円、受取手形及び売掛金が1,504百万円減少しましたが、有価証券が4,896百万円、商品及び製品が1,758百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、13,847百万円と前事業年度末に比べ1,522百万円(12.4%)増加しました。これは、買掛金が1,505百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、80,271百万円と前事業年度末に比べ46百万円(0.1%)増加しました。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は1,119百万円であります。

なお、現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2015年12月期第1四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成27年2月4日「平成26年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,316	4,499
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	14,978	12,832
受取手形及び売掛金	25,901	24,397
有価証券	13,209	18,105
商品及び製品	6,630	8,389
仕掛品	594	628
原材料及び貯蔵品	2,911	3,043
その他	1,579	1,881
流動資産合計	72,121	73,778
固定資産		
有形固定資産	5,806	5,798
無形固定資産	818	882
投資その他の資産	13,803	13,659
固定資産合計	20,428	20,340
資産合計	92,550	94,119
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,095	7,601
未払法人税等	273	294
賞与引当金	694	1,324
役員賞与引当金	48	14
返品調整引当金	1	0
その他	4,279	3,778
流動負債合計	11,391	13,013
固定負債		
退職給付引当金	173	196
その他	759	637
固定負債合計	933	833
負債合計	12,324	13,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	69,102	69,069
自己株式	△861	△861
株主資本合計	79,847	79,814
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	377	457
評価・換算差額等合計	377	457
純資産合計	80,225	80,271
負債純資産合計	92,550	94,119

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	12,355	13,298
売上原価	5,702	6,398
売上総利益	6,652	6,899
販売費及び一般管理費		
販売促進費	980	1,054
給料及び手当	1,236	1,279
賞与引当金繰入額	551	551
研究開発費	1,141	1,119
その他	2,055	2,150
販売費及び一般管理費合計	5,966	6,154
営業利益	685	745
営業外収益		
受取利息	20	20
受取配当金	8	0
為替差益	2	18
その他	5	11
営業外収益合計	37	51
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	2	2
営業外費用合計	2	2
経常利益	720	794
特別損失		
固定資産除却損	3	0
特別損失合計	3	0
税引前四半期純利益	716	793
法人税等	280	260
四半期純利益	435	532

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

該当事項はありません。